

会議の名称	平成29年度松伏町まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会 第1回会議
開催日時	平成29年8月21日(月) 午後 2時00分から 午後 3時10分まで
開催場所	松伏町役場本庁舎3階 第2会議室
出席者	(審議会委員) 松伏町商工会会長：小島 朗 埼玉県東部地域振興センター所長：酒井 栄治 大正大学地域構想研究所部長：佐藤 徹明 埼玉りそな銀行越谷支店支店長：鈴木 正広 越谷公共職業安定所所長：佐藤 浩二 埼玉新聞社常務取締役：宮下 達也 吉川青年会議所顧問：程田 幸秀 松伏中学校PTA顧問：石原 みどり (松伏町) 町長：鈴木 勝 副町長：鈴木 寛 企画財政課長：石川 敏 企画財政課主幹：目黒 健二 企画財政課主任：末次 雄一郎 企画財政課主事：鈴木 陵平
欠席者	公募委員：田村 笑 公募委員：古屋 由美
議題	1 地方創生拠点整備交付金を活用した事業の概要について 2 町長からの諮問 3 松伏町まち・ひと・しごと創生総合戦略改定の方向性について 4 平成29年度松伏町地方創生関係事業について 5 その他
配付資料	・次第 ・出席者名簿 ・資料1 地方創生拠点整備交付金(第2回)について ・資料2 地方創生拠点整備交付金事業 松伏町「みんなの良(居)場所」づくりプロジェクトの概要 ・資料3 平成29年度総合戦略改定スケジュール ・資料4 松伏町まち・ひと・しごと創生総合戦略(案)(抜粋) ・資料5 平成29年度に取り組む主な地方創生関係事業 ・参考資料 松伏町まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会条例

発言者	発言内容・決定事項等
議題1 地方創生拠点整備交付金を活用した事業の概要について	
事務局	<p>(資料1～3に基づいて事務局から説明。)</p> <p>【地方創生拠点整備交付金の申請に至った経緯】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地方創生拠点整備交付金は、総合戦略に位置付けられ、自治体を実施する先導的な事業に必要な施設の改修を支援するため、平成28年度国の第二次補正予算で措置された新たな交付金である。 ・平成29年2月に、国から地方創生拠点整備交付金事業の募集について庁舎内に照会した結果、教育文化振興課より赤岩地区公民館を改修して多世代が交流する事業を展開したい旨の相談があった。 ・赤岩地区公民館については、老朽化や中央公民館と施設内容が重複する部分があることから多世代交流が可能な施設への改修がかねてから議論されてきたが、多額な改修費用が掛かることから総合戦略への記載を見送っていた。 ・申請までが短期間だったが、関係課で施設の改修内容や事業展開ができたため申請を行った。 ・申請に当たり本審議会を開催すべきであったが、申請までが短期間で開催の暇がなかったこと、交付金採択に係る不確定要素があるため見送った。 <p>【交付金の詳細と実施事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交付金の対象施設として国から示されているもののなかで、赤岩地区公民館の改修に該当するものは、「生涯活躍のまちの推進に資する多世代交流の拠点施設の整備」、「地域コミュニティ組織の日常的な活動の場として機能する基幹的な拠点施設の整備」である。 ・交付金の要件として、施設整備計画の提出が必要であり、本年3月21日に国へ提出し、交付決定を本年5月31日付けで受けた。 ・国から交付決定後に、6月議会での予算措置と、総合戦略上に事業の位置付けがない場合は今年度内に総合戦略の改訂を実施するよう条件がある。このことから本審議会を開催することとなった。 ・事業については、赤岩地区公民館を改修し、多世代が交流でき、居心地が良いと思える空間（良場所）を創出することを目的とする。 ・ソフト事業として、サロン等でのサークルの発表機会の提供や、ボランティア活動の場の提供、人と人とを繋げるための支援を行うコーディネーターの配置等を予定している。 ・総事業費は8,256万円で、補助対象外経費を除いた総事業費に対して国の補助率1/2を掛けた4,025万5,000円が町に入る交付金となる。 <p>【スケジュール】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7月21日に副町長を委員長とする、地方創生等庁内推進本部会議を開催。会議の中で、総合戦略の改定について審議会を開催する旨の報告をした。

	<ul style="list-style-type: none"> 改修工事の設計業務については本年7月に契約締結をし、現在は設計業務を実施中である。 本会議で諮問をしたのち、本年11月に第2回審議会を開催し、そこで答申を頂くことで総合戦略へ本事業が位置付けられる。 改修工事については本年秋から来年の3月までの間を予定している。
会長	<ul style="list-style-type: none"> 事務局からの交付金等に関する説明があったが、質問はあるか。
会長	<ul style="list-style-type: none"> 駐車場整備については実施するのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 本交付金は、ソフト事業に先駆性がないと採択されないものであることから、それらの事業に関連があるものしか補助対象とならず、駐車場は関連しないため、補助対象外である。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 北部拠点の活性化については、総合戦略上記載があるが、北部の施設についての改修は検討しなかったのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 当初の段階で検討されたが、すでに農村トレーニングセンターにおいて他で補助金を受けていることなどから、今回は見送った経緯がある。 今回は高齢化が進んでいる内前野地区において、拠り所を作ることを目的とするために近くにある赤岩地区公民館を選定した。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 赤岩地区公民館は、公民館として存続するのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 教育財産としては残るが、社会教育法上という公民館ではなく多世代交流館となる。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 住民説明会は実施したのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 今年度当初に利用者に対して、担当の教育文化振興課で実施した。 利用者から、和室がなくなるため、今後の利用がどうなるかの質問があった。中央公民館の和室を使用してもらおう旨の説明を行ったが、改修自体についての反対意見は出なかったと聞いている。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 多世代交流は重要で、取り組みについては評価できる。 ソフト事業については、しっかりと計画し、様々な人が集まるようにしてほしい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ご意見として参考にさせていただく。
委員	<ul style="list-style-type: none"> この事業を総合戦略へ位置付けすることで、何が良くなるのか。人口増加が見込めるのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 本事業のみで人口増加については考えていないが、本申請を含め、総合戦略上の基本目標に対する数値目標の達成率を高めることで人口増加に繋がると考えている。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ソフト事業については今回の施設整備と併せて申請をしているのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 施設整備と共にセットで申請を出している。
議題2 町長からの諮問	
	(町長登壇)

	<ul style="list-style-type: none"> ・町長から小島会長に対して、松伏町まち・ひと・しごと創生総合戦略の改定について諮問。
町長	<p>(諮問にあたり、町長より挨拶)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成27年度に策定された「松伏町まち・ひと・しごと創生総合戦略」は、本年度が計画期間の中間年にあたる。 ・先程、総合戦略の改訂について諮問したが、松伏町では、本年4月に人口がついに3万人を割り込み、その後も人口の減少が続いている。 ・少子高齢化による自然減は全国共通の状況として見受けられるところではあるが、松伏町では、他市への転出超過も続いている。 ・人口減少問題は長期的視点に立った取組みが必要であると考え、全国の自治体で様々な人口減少対策が進められる中で、人の取り合いが進んでいるという現実にも目を向けていく必要がある。 ・地域間競争が進む中で、皆様のお知恵も拝借しながら、町としても庁舎内一体で人口減少問題に取り組んでまいりたい。 ・今後も、皆様方の経験や知識を踏まえ、ご意見をいただきたい。 <p>(町長退室)</p>
議題3 松伏町まち・ひと・しごと創生総合戦略改訂の方向性	
事務局	<p>(資料4を用いて説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当町の総合戦略では、「交流人口を増やす魅力づくりと町民満足度の向上」という5か年戦略の基本理念に基づき、4つの基本目標を掲げ、基本目標の下実施する事業を施策ごとに記載する構成となっている。 ・今回、拠点整備交付金の条件として、交付金申請事業の総合戦略への記載については、国から「少なくとも総合戦略に拠点整備交付金の申請対象事業を指すことが一般的に明らかと考えられる程度の記載が必要である」との見解が示されていることから、総合戦略における拠点整備交付金事業の具体的な記載箇所及び記載内容の案について説明する。 ・拠点整備交付金事業の内容を踏まえると、「働く場の創出」、「魅力発信」、「子育て・暮らし環境の向上」、「生活利便性の向上」の4つの基本目標の中で事業を当てはめる候補として、「基本目標3 自然環境の良さを活かして、子育てや暮らしの環境を向上させる」の中の多世代交流の場づくりの施策に追加することで、子育て・暮らし環境の向上に繋がるのではないかと考え、案を提示する。 ・基本目標3では、子育て環境のみならず、まちの活性化のためには、多世代の交流を可能とするための場や仕組みづくりが重要としており、今回の拠点整備交付金事業の内容と記載が合致することから、本拠点整備交付金事業は基本目標3のうち、多世代交流の場づくりに位置付けることについて審議いただきたい。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・事務局からの交付金等に関する説明があったが、質問はあるか。

委員	・質問なし。
議題4 平成29年度松伏町地方創生関係事業について	
事務局	<p>(資料4を用いて説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本年度新たに取り組む2事業について詳細説明。 ・シティプロモーション策定事業については、人口ビジョンの中で、これまで町が取り組んできた広報活動では、人を呼び込み、住んでもらうというところまでは至っていないとの分析結果を受け、総合戦略では町の知名度アップに取り組み、転入候補地の机上にあげてもらおうシティプロモーションを目指す。 ・本事業では、町に普段いると気付かない視点や近年広報媒体として脚光を浴びているフェイスブック、ツイッターといった電子媒体による広報手法について、若い世代からの視点、電子媒体を使っている側からの視点から意見をいただくため、大正大学にご協力いただき、学生の参画をいただいている。また、広報宣伝のプロとして視点をいただくため、埼玉新聞社の方にも委員として参画いただいている。ここに役場の若手職員を含めて策定委員会を設置し、シティプロモーション戦略を策定し、本年度戦略の一部を先行実施していく。 ・特産品の開発については、新たにひとを呼び込む手段の1つとして、魅力づくりに取り組むため総合戦略に記載した事業。 ・本事業は、埼玉県のふるさと創造資金を活用した補助事業である。公募により特産品開発業者を募り、開発業者が作成する試作品に対し、産官学農言の各分野の方々からご意見をいただき、試作品をイベントや人が多く集まる場所に出品し、町の魅力宣伝と試作品に対するアンケート調査を積み重ね、多くの方に参画いただきながらまつぶしの逸品を作り上げる事業である。 ・こちらの事業においては、推奨特産品を選定してきたノウハウをお持ちの松伏町商工会をはじめ、若い方の味覚や実習で特産品を販売した実績がある大正大学にご協力いただき、学生の参画をいただいている。また、開発から逸品完成までの間、状況を新聞にて宣伝していただくことやイベントでの町の魅力紹介にご協力いただき、知名度アップを図る観点から埼玉新聞社の方にも参画いただいている。 ・現在試作品の開発段階で、今後試作品が完成する秋ごろをめぐり、各種イベントなどに出品し、ご意見をいただく予定。
会長	・事務局から説明があったが、質問等はあるか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・大正大学の学生が参画しているが、町民のあたたかさを学生は感じており、その中に埋もれた町の良さなどを探していきたいと学生から報告を受けている。 ・学校に戻っても意見交換や情報共有をしており、今後の会議に活かしていきたい。

会長	<ul style="list-style-type: none"> ・自身もまつぶし逸品事業には商工会としても参画している。 ・作るだけでなく、広める方法も今後検討していくべきだと考えている。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・新聞社として、紙媒体だけでなくソーシャルネットワーキングサービス（SNS）を活用して購読者を増やしている。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・シティプロモーションについては、人口がなぜ減少しているか考えるべき。 ・自然が豊かとは言いつつ、実際は不便であることを認識すべきだ。そのため、住んでいる住民、特に子育て世代からの委員を選定することが、生の声が聞けるのではないか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・町外在住の人を委員とするのは、外から見ることで異なる意見が出るので良いと思う。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・松伏町は、バス網の更なる充実をすることで松伏町の魅力となりうるのではないか。今後に期待したい。
議題5 その他	
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・次回の会議は、平成29年11月を予定。 ・次回は、今回の会議結果を取りまとめた上、答申をいただく予定。 ・次回の開催日までにご意見やご質問があれば、事務局まで連絡してほしい。 ・本審議会の議事の概要については、ホームページで公表する。
閉会	